学校番号	3009

令和８年度　工業科（工学系）

教科	工業科（工学系）	科目	建築・デザイン系実習	単位数	５単位	年次	２年次（AD コース選択）
使用教科書	なし						
副教材等	『合格率９割越！二宮恵理子の色彩検定３級　テキスト＆問題集』（KADOKAWA） 『模型づくりからはじめる建築設計の基本』（彰国社） 『なるほどデザイン』（エムディエヌコーポレーション）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では建築・デザインの幅広い概念と、基本的な考え方や方法を理解することを目的としています。ものの見方を鍛え、視野を広げることで日常生活の中にあるヒト・コト・モノに関するデザインについて考えを深め、それらで得た技術や知識を活かし、自らが問題や課題を見つけだし、自分なりに答えを求め考えようとする意欲や姿勢を身に付けることに主眼を置いています。また、安全衛生（５Ｓや報連相など）、技術者としての倫理観、環境及びエネルギーへの配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。
建築・デザインについて総合的に理解し、製図や専門に関する座学で学んだことを活用し、それぞれのパートで学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

建築・デザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、社会環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。また、表現方法及び知的財産権等に配慮しつつ、さまざまな角度から物事を捉える姿勢を身に付け、主体的に新しい価値観の創造と提案をおこない、社会の発展や改善を図ることのできる能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築・ﾃﾞｻﾞｲﾝに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	建築・ﾃﾞｻﾞｲﾝに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	建築・ﾃﾞｻﾞｲﾝに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	建築実習	建築設計デザイン	a:設計趣旨の理解と、設計をするうえで必要な情報の整理とアイデアの出し方、表現の手法を身に付けている。 b:設計趣旨の理解とその解釈が論理的に行われ、解決の手法がわかりやすく表現されている。 c:建築設計に関する事象について関心をもち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。また、与えられた課題に関して、自ら吟味し、必要に応じて様々なメディアを通して研究し、探究しようとしている。	課題作品 レポート 自己・他者評価	課題作品 レポート 自己・他者評価	授業観察 レポート 自己・他者評価
		透視図法 1点透視図法 2点透視図法 陰影	a:透視図法を理解し、正しく空間把握を行い作図できる。 b:与えられた課題を理解し、自ら考え工夫しながら、丁寧に制作しようと努力している。 c:学習を通して透視図法による空間表現に関する基礎的な知識や技能及び造形に興味・関心をもち意欲的に取り組む態度を身に付けようとしている。	課題作品 レポート 自己・他者評価	課題作品 レポート 自己・他者評価	授業観察 レポート 自己・他者評価
		建築 CAD 配置図・平面図 立面図	a:図面の作図を行い、ソフトを正しく使用して図面表現ができる。 b:与えられた課題を理解し、創造的な立体物の構成について自ら考え工夫しながら、丁寧に制作しようと努力している。 c:学習を通して、身の回りにあるものの造形に関して興味・関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けようとしている。	課題作品 レポート 自己・他者評価	課題作品 レポート 自己・他者評価	授業観察 レポート 自己・他者評価

		3D モデリング sketchup の使い方 空間のデザインとモデリング	a:図面の作図を行い、ソフトを正しく使用して図面表現ができる。 b:与えられた課題を理解し、創造的な立体物の構成について自ら考え工夫しながら、丁寧に制作しようと努力している。 c:学習を通して、身の回りにあるものの造形に関して興味・関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けようとしている。	課題作品 レポート 自己・他者評価	課題作品 レポート 自己・他者評価	授業観察 レポート 自己・他者評価
	デザイン実習	色彩 色の基本と特性 色彩表現の技法	a:色に関する基礎的知識と、その特性について理解している。 b:与えられた課題を理解し、自ら考え工夫しながら、丁寧に制作しようと努力している。 c:学習を通して、色に関する基礎的な知識や技能及び造形に興味・関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けようとしている。	課題作品 レポート 自己・他者評価	課題作品 レポート 自己・他者評価	授業観察 レポート 自己・他者評価
		Adobe Illustrator 基本操作 Photoshop 基本操作 課題: 色彩チャート図 パッケージデザイン	a:ベクターとラスターグラフィックスの取り扱いについて理解し、主なツールを利用することができる。 b:ツールを組み合わせて複雑な練習課題に取り組むことができる。 c:自ら Help 機能、インターネットを活用し、新たなツール、使用方法を身に付けることができる。	課題作品 授業観察 レポート	課題作品 授業観察 レポート	課題作品 授業観察 レポート
		撮影技術 課題: パッケージに使用する商品サンプル撮影 ストップアニメーションの基礎	a:デジタル一眼レフの構造、設定、適正露光について理解し撮影することができる。 b:基本機能について理解し応用機能についても調べて利用することができる。 c:自らマニュアルやインターネットを活用し、発展的な撮影技法を研究する。	課題作品 授業観察 レポート	課題作品 授業観察 レポート	課題作品 授業観察 レポート
		HTML の関連技術の基本 HTML5、CSS、Javascript	a: Web ページの仕組みについて、基礎的な内容を理解する。 b:例題をもとに CSS, Javascript を変更し、表示・動作の変化について確認することができる。 c:自らマニュアルやインターネットを活用し、発展的な技術について研究する。	課題作品 授業観察 レポート	課題作品 授業観察 レポート	課題作品 授業観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度